

【関数一覧】

分類	関数		説明	sample使用関数	
	DLL	OCX		DLL	OCX
基本関数	IDRCInitExtractFields()	IDRCInitHandOcr()	文字認識用辞書のロード・初期化などの処理を行い、動作に必要なメモリーを確保します。	○	○
	IDRCSetExtractImage()	IDRCLoadImage()	ファイルから帳票識別およびフィールド内容の取得対象となる画像をセットし、既存の画像を破棄します。	○	○
	IDRCSetExtractDib()		メモリーから帳票識別およびフィールド内容の取得対象となる画像をセットし、既存の画像を破棄します。		
	IDRCLoadExtractFields()	IDRCLoadFormat()	識別用にフォーマットファイル(*.fmt)をロードします。		○
	IDRCAddFormatFile()		識別用にフォーマットファイル(*.fmt)をロードし、フォーマットリストに1つ追加します。	○	
	IDRCAddFormatFileEx()		識別用にフォーマットファイル(*.fmt)をロードし、フォーマットリストに1つ追加して、リスト番号を取得します。		
	IDRCGetFormatFilesNumber()		識別用にセットされているフォーマットの数を取得します。		
	IDRCSetMatchFormat()		設定されている画像とマッチするフォーマットの番号を取得します。		
	IDRCSetMatchFormatWithRotateImage()	IDRCMatchFormatRotate()	設定されている画像を自動回転してマッチするフォーマットの番号を取得します。	○	○
	IDRCGetExtractFieldsNumber()	IDRCExtractFields()	カレントフォーマットに登録されているフィールドの数を取得します。	○	○
	IDRCGetOneExtractFieldText()	IDRCGetExtractFieldText()	カレントフォーマットを使用して認識し、指定番目のフィールドのテキストを取得します。	○	○
	IDRCTerminateExtractFields()	IDRCTerminateHandOcr()	確保したメモリーを解放し、帳票認識ライブラリーの終了処理を行います。	○	○
	IDRCSetRecogDib()		文字を認識するための画像を帳票認識ライブラリーに設定します。		
	IDRCDeleteFormatFile()		登録されている指定番目のフォーマットを削除します。		
モード設定関数	IDRCChangeCheckThresh()	IDRCSetCheckThresh()	チェックマーク識別に使用するしきい値を設定します。		
	IDRCSetFormatMatchThresh()		フォーマットマッチングのしきい値を変更します。		
ユーザーパターン辞書関数	IDRCCharUserCHANGE()		ユーザーパターン辞書ファイルを変更します。		
拡張関数	IDRCAutoSkewExtractImage()	IDRCAutoSlopeImage()	設定されている画像を自動的に傾き補正します。	○	○
	IDRCGetFieldImage()		カレントフォーマットの指定番目のフィールドに対応する画像をファイルに保存します。		
	IDRCIsWritten()		カレントフォーマットの指定番目のフィールドに、文字を記入しているか記入していないかを判定します。		
	IDRCGetExtractDib()		帳票認識ライブラリーに設定されている画像をDIB形式で取得します。		
	IDRCGetExtractImage()		帳票認識ライブラリーに設定されている画像を指定ファイルの指定ページに保存します。		
	IDRCGetOneExtractFieldCharInfo()		指定フィールドの指定番目の文字が、確定か未確定かの情報を取得します。		
	IDRCGetOneExtractFieldCharRect()		指定フィールドの指定番目の文字に外接する矩形情報を取得します。		
	IDRCGetMatchPercent()		フォーマット識別後に、その一致度を取得します。		
	IDRCGetFormatFileName()		帳票認識ライブラリーに設定されている指定番目のフォーマットファイル名を取得します。		
	IDRCGetLastFormAngle()		帳票認識ライブラリーに設定されている画像の傾き角度を取得します。		
	IDRCGetLastFormRotateDirect()	IDRCRotateAngle()	フォーマットマッチ後に、画像の向きを取得します。		○
	IDRCGetFieldImageRect()		指定フィールドの矩形情報を取得します。		
	IDRCCheckData()		指定フィールドのデータチェックをします。		
	IDRCGetNumOfSubFields()		指定フィールドのサブフィールド数を取得します。		
	IDRCclearNoise()		指定サイズでノイズを除去します。		
ログ出力関数	IDRCSetLogLevel()		ログの出力レベル(出力情報の詳細度)を設定し、ログを出力します。		
	IDRCSetLogFile()		ログの出力先ファイルを設定します。		

※OCX版では、IDRCGetErrorでエラーコードを取得します。

○ DLL/OCX共通機能
○ DLL機能